

高岡市DX推進アクションプランに係る令和7年度の実績について

1 目的

高岡市DX推進アクションプランは、社会情勢の変化に合わせて柔軟に見直しながらか進捗を図ることとしており、アクションプランに係る令和7年度の実績を報告するもの。

2 令和7年度の実績と評価

「高岡市DX推進方針」に基づき、行政手続きをはじめ、本市が提供するあらゆる分野の行政サービスを市民の方々が「市役所に行かなくても受けることができる」ということを大切にしながら、デジタルを活用した市民サービスの利便性向上のための環境整備に取り組んできた。今後もデジタルサービスの定着に向け、デジタルを活用した市民サービスの充実に取り組んでいく。

＜施策別の主な実績＞（どこでも市役所シリーズはゴシック表記）

区分	施策名	内容
社会のデジタル化	電子申請対象手続きの拡大	・ 建築確認申請等の電子申請受付開始（R7.10 開始） ・ 人間ドックの Web 申し込み運用開始（R7.6 開始）
	市民・地域・行政の新たなつながりの創出	・ TAKAOKA アプリに「人生いきいきノートアプリ」機能を追加（R7.12 開始） ・ たかおか電子図書館に「デジタル紙芝居」を追加（R7.11 開始） ・ たかおかこども給食管理システムの運用開始（R8.3 開始）
	災害対応力の強化	・ 消防団デジタル推進事業（結ネット）の運用開始（R7.11 開始）
行政のデジタル化	自治体の行政手続きのオンライン化	・ 国保（加入・脱退）手続きのオンライン申請受付開始（R8.3 開始）
	【再掲】電子申請対象手続きの拡大	・ 建築確認申請等の電子申請受付開始（R7.10 開始） ・ 人間ドックの Web 申し込み運用開始（R7.6 開始）
	【再掲】市民・地域・行政の新たなつながりの創出	・ TAKAOKA アプリに「人生いきいきノートアプリ」機能を追加（R7.12 開始） ・ たかおか電子図書館に「デジタル紙芝居」を追加（R7.11 開始） ・ たかおかこども給食管理システムの運用開始（R8.3 開始）
	【再掲】災害対応力の強化	・ 消防団デジタル推進事業（結ネット）の運用開始（R7.11 開始）
	窓口案内のデジタル化	・ 迷わない！待たない！窓口案内・予約サービス開始（R7.8 開始） （来庁予約サービスの開始（11 種類）、複数窓口の申請等も統一した番号案内、呼び出しが近づいた際のメール通知、多言語対応（6 か国語））
	窓口業務のデジタル化	・ 出生・おくやみ手続きのワンストップサービスの開始（R8.1 開始）

D X推進アクションプラン 令和7年度取組実績一覧

(1) 施策の柱1 社会のデジタル化 (市民が豊かさを実感できるデジタル社会の実現)

取組期間	No.	個別施策の名称 (【共通】: 社会・行政両方に共通する施策)	令和7年度取組 上段: 当初計画 下段: 取組実績 (※㊦=当初計画になかった新たな取組)	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業の軽の効率化(管理負担含む)	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	1	マイナンバーカードの普及促進【共通】 (行政-短期-1)	・マイナンバーカード申請サポート及び「お待たせしない窓口」を念頭においたマイナンバーカードの円滑な交付 ・マイナンバーカード有効期限到来による更新、電子証明書の更新増加への円滑な対応(窓口体制の強化等) ・マイナンバーカードの円滑な交付 ・マイナンバーカード有効期限到来による更新、電子証明書の更新増加への円滑な対応(窓口体制の強化等) ⌈ R7 年度末 保有率 85.21% 保有枚数 138,614 枚 R6 年度末 保有率 82.04% 保有枚数 134,583 枚 3.17%増 4,031 枚増 ⌋ ・休日臨時窓口の開設 ・福祉施設等への出張申請受付 ・事前予約制によるカード交付	○		○			【時間と空間の節約】 【業務の効率化(管理負担の軽減も含む)】 ○カード交付専用窓口の設置及び受取事前予約制の運用により、来庁者が平準化され、待ち時間なくカードを交付している。 ○令和7年8月1日より、マイナンバーカード申請や電子証明書の更新についてもオンラインによる来庁予約を開始し、円滑に対応している。
	2	電子申請対象手続きの拡大【共通】 (行政-短期-3)	[富山県電子申請サービス] ・電子申請手続きの拡大 ・オンライン納付サービスの拡大 [民間のシステムを活用した電子申請サービス等] ・ふるさと納税 オンラインワンストップサービス ・公共施設予約システム ・職員採用試験の受験に係るオンライン手続の拡充 ・人間ドックの Web 申込システム構築・運用 [富山県電子申請サービス] ・電子申請手続きの拡大 <どこでも市役所シリーズ 第12弾> ・オンライン納付サービスの開始(R6.8) ・長期優良住宅認定申請 R7: 93 件 R6: 42 件 ・税証明等交付申請 R7: 96 件 R6: 55 件 ・こども誰でも通園制度 R7: 86 件 R6: 27 件 ・高岡市営福岡駅前駐車場及び高岡市営福岡駅西駐車場定期駐車券購入申し込み R7: 21 件 R6: 14 件 <どこでも市役所シリーズ 第19弾> ・建築確認申請等の電子申請受付開始(R7.10) 申請件数: 131 件 ・建築確認申請等の電子申請対象拡充(R8.2) 申請件数: 13 件 [民間のシステムを活用した電子申請サービス等] ・ふるさと納税オンラインワンストップサービス R7: 3,680 件 R6: 2,778 件 ・職員採用試験の受験に係るオンライン手続の拡充 R7: 397 件	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化(管理負担の軽減も含む)】 ○窓口対応にかかる時間が削減された ○電話対応にかかる時間が削減された ○紙申請によるデータ入力が必要になり、申請受付データの管理、加工などの効率化につながった 【業務の効率化】(公共施設予約システム) ○従来紙で管理していた予約台帳を電子化することで、予約の把握や使用料の徴収管理に関する業務負担が軽減された。 ○人間ドックの Web 申し込み導入後、R7 年 11 月以降は概ね 4 件に 1 件が Web 経由での申し込みとなっている。利用者の申し込み手段として定着が進むことで、受検者の利便性向上、電話混雑の緩和、受付業務の負担軽減につながっており、現役世代の利用促進も期待される。

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和 7 年度 の 取 組 み 上 段：当初計画 下 段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の軽減も含む（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
			<どこでも市役所シリーズ 第 15 弾> ・公共施設予約システムの開始 県共同利用（富山県、富山市、朝日町） ・地域交流センター（市内 32 ヲ所） ・スポーツ施設等（市内 50 ヲ所） R7 年度予約件数 59,801 件（上記高岡市内 82 施設の件数） <どこでも市役所シリーズ 第 17 弾> ・人間ドックの Web 申し込み運用（R7.6） R7：Web 申し込み件数 110 件						
短期	3	データヘルス改革の推進【共通】 （行政-短期- 4）	・病院情報システム、通院支援システムの運用 ・バイタルデータ自動転送システムの運用 ・国のデータヘルス改革の推進 ・通院支援システム（HOPE LifeMark コンシェルジュ）の運用 ・病院情報システム、通院支援システムの運用 ・バイタルデータ自動転送システムの運用 電子カルテへの入力所要時間短縮。 <どこでも市役所シリーズ 第 9 弾> ・通院支援システム（HOPE LifeMark コンシェルジュ）の運用		○	○		○	【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【安全・安心の確保】 ○オンラインでの保険資格確認が可能となったことで、資格変更等に係る過誤請求に関する確認作業の軽減、効率化につながっている ○通院支援システムの導入により、診療費の後払い（らくらく会計）を希望する患者については、会計での待ち時間が不要となった。また、診療費の計算を担当する職員の負担が軽減された ○バイタルデータ自動転送システムの導入により、打ち間違いが軽減され正確な数値反映が可能となり、入力件数も向上した。手入力の時短により、患者さんとコミュニケーションできる時間が増えたため、より安全・安心な医療サービスの提供にもつながっている。
短期	4	キャッシュレス決済の推進【共通】 （行政-短期- 5）	キャッシュレス決済に対応した手続き・対象施設の拡充検討 キャッシュレス決済に対応した手続き・対象施設の拡充検討 ・住民票等（9,226 通 12.3%） ・税証明等（2,529 通 16.0%） ・高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー（7,522 件 27.9%） ・高岡市御車山会館（1,001 件 26.0%） ・一部の保育サービスにおけるキャッシュレス決済システム導入 【R7 年度利用実績】 ・一時預かり：5 件 ・こども誰でも通園：3 件				○	○	【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○日次の現金計算の作業が不要となった 【安全・安心の確保】 （非接触により、感染リスクが軽減されている） 決済手段の選択肢が増えたことにより、利用者の利便性向上につながった。
短期	5	問い合わせ対応のデジタル化（AI チャットボット）【共通】 （行政-短期- 6）	A I チャットボットシステムの運用 ・問い合わせ等に対する回答内容の充実・改善 <どこでも市役所シリーズ 第 6 弾> A I チャットボットシステムの運用 ・対象分野拡大 R4：20 分野 → R5：27 分野→ R6：28 分野→R7：30 分野 ・回答率／アクセス数 R7：97.4％／32,554 件 R6：92.8％／37,135 件 R5：90.0％／37,538 件 R4：87.6％／9,388 件（R4.12～R5.3）	○	○	○			【時間と空間の節約】 ○24 時間 365 日問い合わせ対応可能である 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○簡単な質問や定型的な質問に対して自動応答が可能である

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実績 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	業務の軽減も含む（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	6	オンライン会議の拡大【共通】 （行政-短期-7）	・オンライン会議の範囲の拡大・環境改善 ・外国人児童生徒就学支援におけるオンライン活用の拡充	○	○	○	○	○	【時間と空間の節約】 ○会議、研修にかかる移動時間が削減された ○「家でも学べる講座」youtube 配信により時間、場所を選ばずに受講可能となった 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 消防業務 ○消防による立入検査への出向人数が削減された ○消防による立入検査、研修など、オンラインを活用する機会が増えたことで業務の効率化につながっている 外国人児童生徒就学支援 ○オンライン環境を活用し、外国人児童生徒は支援の機会が増え、外国人児童生徒教育指導講師は学校間の移動時間の削減に繋がった ○学校と外国人児童生徒教育指導講師、また外国人児童生徒教育指導講師同士の連絡や翻訳文書の共有等が容易になり、業務効率が向上し、就学支援の強化に繋がった 【コスト削減】 ○移動時間や燃料費の削減につながった 【安全・安心の確保】 （感染症拡大防止につながった）
			・オンライン可能な出前講座等の整備 ・出前講座 57 講座（89 講座中） ・「家でも学べる講座」youtube 動画配信数計 40 件 （追加数 R5：4 件、R6：10 件、R7：5 件） ・各業務におけるオンライン会議 [消防業務] R7 実績：会議等 43 回、研修等 51 回、リモート立入検査 6 件、車両機装中間検査等その他 4 回 [保育業務] R7 実績：オンライン研修 3 回 ・外国人児童生徒就学支援におけるオンライン活用 外国籍児童生徒へのタブレット端末を活用した指導						
中期	1	官民データ利活用の推進	・県・市町村共同利用による運用 ・連携する県・市町村のセンサーデータの拡充	○	○	○	○	○	【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○防災分野における国・県・市町村のデータの収集・集約・提供と、それらの防災分野のデータを地図上に可視化された
			・県・市町村共同利用による運用 ・連携する県・市町村のセンサーデータの拡充						
中期	2	デジタルデバインド（情報格差）対策	・初心者向けデジタル機器利用に関する教室の開催 ・地域におけるデジタル活用人材の育成推進 ・講座内容の拡充・市デジタルサービス活用推進	○	○	○	○	○	【安全・安心の確保】 ○参加者アンケート結果(満足度) ・「9～10 点」・・・56% ・「7～8 点」・・・27% ・「5～6 点」・・・12% ・「3～4 点」・・・2% ・「0～2 点」・・・3% 「分かりやすかった」、「参考になった」「また参加したい」など
			・初心者向けスマートフォン講座 開催 16 回、参加 226 人、参加者数 14.1 人／回 ・中級者向けスマートフォン講座 開催 30 回、参加 337 人、参加者数 11.2 人／回 ・講座内容の拡充（㊦マイナポータル編を追加）						

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実施計画 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の軽減効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	3	IoT センサーを活用した取組【共通】 （行政-中期-4）	・各種 IoT センサーを活用した、実証実験等の実施 ・ドローンを活用した業務の実施	○	○	○		○	【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○水位（IoT）センサー ・降雨時のパトロール業務や下水道不明水の現地調査に係る時間が削減された 【安全・安心の確保】 ○遠隔漏水監視 ・漏水検知から修繕までのサイクルを短縮し漏水事故を未然に防ぐことができた。 ○ドローン活用 ・危険箇所への立入が不要となり、職員の安全が確保された ○トレイルカメラによるクマ出没対策実証事業 ・令和7年度の検知数は1件であり、捕獲隊等の専門家の意見も踏まえ、定点観測を継続 ○遠隔監視 ・現場に先着する消防隊から伝送される災害現場により正確かつリアルタイムな状況把握が可能となった ○消雪装置監視 ・動作不良状況の遠隔監視が可能になったほか、残雪処理等の遠隔運転が可能となった
			・ドローン活用（水管橋の定期点検（月1回）、捜索1件、火災原因調査6件、林道の工事箇所の全体把握・確認 1路線、古城公園の樹木生育調査1件） ・スマートメーター難検針地区の導入（国吉配水区154世帯） ・スマートメーター（大口径メーター（工場等））の導入（45台） ・水位センサー導入（6基） ・河川水位センサー導入（1基） ・漏水監視センサー追加導入（11基） 運用 112基（R6）+11基=123基 ・水位・流速センサー追加導入（1基） 運用 4基（R6）+1基=5基 ・トレイルカメラによるクマ出没対策実証事業 設置4か所 ・遠隔監視 現場映像伝送装置 高機能消防指令システム等全面改修により映像通報受信装置で代替可能となったことから、現場映像伝送装置を廃止。 ・消雪装置監視 運用 18基（R6）+32基（R7）=50基						【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○市役所の窓口を訪れる必要があった情報がインターネット上で閲覧や取得することが可能となり、窓口対応にかかる時間の削減につながった
中期	4	地図情報のデジタル化（GISの公開）【共通】 （行政-中期-5）	・地図情報の公開範囲の拡大検討 ・公開する地図情報の整備 ・3D都市モデルの運用	○	○	○			
			<どこでも市役所シリーズ 第2弾> ・デジマップ@たかおか（公開型GIS）運用 アクティブユーザー数：29,704 テーマ表示回数：39,080 ・3D都市モデルの運用						

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和 7 年度 の 取 組 み 上 段：当初計画 下 段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業の軽減効率化（管理負担も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	5	市民・地域・行政の新たなつながりの創出【共通】 （行政-中期-6）	[市公式 LINE] ・メニュー内容の充実・改善 [高齢者のデジタル推進事業] ・TAKAOKA アプリの稼働・機能拡充 ・e スポーツの推進 ・双方向見守り・避難情報等配信サービス（マゴコロボタン）運用 [子育て支援アプリ（ねねットたかおか）] ・予約可能イベント等の拡充 [保育業務支援システム（Hoic）] ・導入保育園の拡大 [地域内の情報連絡体制の確立（結ネット）] ・導入地区の拡大等 ・利用者をサポートするための体制構築 [市内公共施設への公衆 Wi-Fi 環境整備] ・順次運用開始 [市公式ホームページリニューアル] ・運用・ページ内容等の充実・改善 [万葉まつりホームページ] ・運用・コンテンツの拡充 [たかおか電子図書館] ・運用、利用促進 ・デジタル紙芝居の導入 [たかおか生涯学習カードのデジタル化] ・利用促進 [多職種連携情報システム「高岡多職種ネット（バイタルリンク）」] ・運用 ・利用者の拡大（未利用事業者向け研修会、多職種ワーキングの実施） [たかおかこども給食管理システム] ・システム構築 [障害者手帳情報デジタル化アプリ（ミライロ ID）] ・運用	○	○	○		○	【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【安心・安全の確保】 ○保育業務支援システム（Hoic）の運用 ・保護者との電話対応に係る時間が削減された ○子育て支援アプリの新規機能追加（ねねットたかおか） ・育児教室等のイベント予約に係る電話対応時間が削減された ○地域内の情報連絡体制の確立（結ネット） ・会議の開催案内及び地域への情報提供にかかる時間の軽減になった ○たかおか電子図書館 ・図書館の開館日や開館時間にかかわらずインターネットを通じて 24 時間本の貸出・返却・予約が可能となった ○e スポーツの推進 老人クラブ連合会において、e スポーツ機材の導入、e スポーツ大会を実施し、高齢者の健康寿命の延伸、社会参加等に寄与 ・e スポーツ機材の導入 全 28 地区へ順次導入予定（R5：7 地区、R6：5 地区、R7：5 地区、R8：6 地区（予定）） ・e スポーツ大会の開催 御旅屋セリオ 6 階「Takaoka ePark」にて年 2 回実施。（令和 5 年度から） ○マゴコロボタン デジタル社会において、スマートフォン未利用の高齢者の孤立化を防ぐもの。災害情報等の迅速・正確な伝達、家族等との簡単な双方向のコミュニケーションが可能となった

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実績 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の軽減率化（管理負含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
			<どこでも市役所シリーズ 第10弾> [市公式 LINE] ・成人式の事前受付・当日受付対応 ・国勢調査の指導員・調査員連絡対応 [高齢者のデジタル推進事業] ・e スポーツの推進 老人クラブ連合会への補助：450 千円 （e スポーツ機材購入、e スポーツ大会開催） ・双方向見守り・避難情報等配信サービス（マゴコロボタン）運用 利用者数：31 人（R8.3.31 時点） <どこでも市役所シリーズ 第11弾> ・TAKAOKA アプリの運用 <どこでも市役所シリーズ 第5弾> [子育て支援アプリ（ねねットたかおか）] ・アプリ登録者数 5,602 人（R8.3.31 時点） <どこでも市役所シリーズ 第3弾> [保育業務支援システム（Hoic）] ・導入保育園の拡大（11 園）※公立園導入済 [地域内の情報連絡体制の確立（結ネット）] ・結ネット導入地区（34 地区） [市内公共施設への公衆 Wi-Fi 環境整備] ・62 施設（R7 年度末時点） <どこでも市役所シリーズ 第10弾> [市公式ホームページリニューアル] ・運用・ページ内容等の充実・改善 [万葉まつりホームページ] ・運用・コンテンツの拡充（朗唱の申込） <どこでも市役所シリーズ 第8弾> ・たかおか電子図書館 ・登録者数 21,943 人、ログイン数 9,134 件、貸出数 1,744 件（R7.4～R8.3） ・たかおか生涯学習カードのデジタル化 [多職種連携情報システム] ・多職種連携情報システム「高岡多職種ネット（バイタルリンク）」の運用 登録施設数 310 施設、登録利用者数 1,252 人、登録患者数 883 件（R8.3.31 時点） [たかおかこども給食管理システム] ・たかおかこども給食管理システムの運用(R8.3) [障害者手帳情報デジタル化アプリ（ミライロ ID）] （R7.4 運用開始）						○TAKAOKA アプリ “健康管理”や“生きがいつくり”など心身の両面からの健康づくり・介護予防を図ることができ、また市公式ホームページの中でよく閲覧されている情報もホーム画面にて確認が可能であり、災害情報等を迅速・正確に得ることができる。 ○学習用端末で利用できる学校 ID の配布 （R6.9～）および適用範囲の拡大（中学校に拡大）（R8.5 予定） ・学習用端末でたかおか電子図書館を利用できる学校 ID を配布することにより、貸出数が増加し、児童の読書推進につながった。 ○高岡多職種ネット（バイタルリンク） ・多職種間で対象者の情報をタイムリーに共有することで、多職種連携が効果的に図れている。また、24 時間手が空いたタイミングで情報を入力したり、閲覧したりできることで、業務効率化にもつながっている。 ・市と福祉避難所との情報連携に活用（平時における福祉避難所との情報連携訓練に取り組み、要配慮者への支援の流れを確認した）
中期	6	デジタルを活用した地域公共交通システムの利便性向上	・市民協働型地域交通システム導入地区と MaaS システムの利用拡大 ・観光型 MaaS の普及拡大 ・市民協働型地域交通システム導入地区と MaaS システムの利用拡大 ㊦海外の旅行会社を通じた世界遺産バス等の電子チケットの販売（R8.2～）	○		○			【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○市民協働型地域交通システムへの MaaS 実装支援 ・LINE 予約が実装されたことで、利用者は 24 時間好きなときに予約が可能となり、利便性が向上した ・予約業務を担う交通事業者においても、LINE でされた予約は管理システムに即時反映されるため、電話で受付をした際のシステム入力作業が省略され、予約受付業務の負担軽減につながった

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和 7 年度 の 取 組 み 上 段：当初計画 下 段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の軽減効率化（管理負含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	7	災害対応力の強化 【共通】 （行政-中期-7）	[高機能消防指令システム等の全面改修] [被災者生活再建支援システムの運用] [防災情報一斉配信システムの運用] [災害情報システムの運用] [消防団デジタル推進事業(結ネット)の運用]						【安全・安心の確保】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○高機能消防指令システムの全面改修 - 音声認識プログラムの導入 1 1 9 番受付時における通報音声の即時テキスト化が可能となった。 - 映像通報受信装置の導入 - 通報者を通じて災害発生状況の映像取得、応急処置指導が可能となった。取得映像は出動途上の消防隊間で共有可能。 - クラウド型車両動態管理システムの導入 - 消防団車両での地図表示、ルート表示、水利情報、他消防分団車両の位置が把握可能となり情報共有の強化が図られた。 ○被災者生活再建支援システムの導入により、被災者情報を一元管理することが可能となった。 ○防災気象情報を複数の伝達手段に対して、ワンオペレーションで迅速・正確に発信することが可能となった。併せて、スマホを持たない高齢者等への電話・FAX 通知、外国人への多言語メール配信が可能となった ○災害情報システムの構築により、被害の対応状況、指定緊急避難場所・指定避難所の状況等を一元的に管理し、職員間で情報共有することが可能となった ○消防本部・消防署と消防団との災害時の円滑な情報伝達及び消防団員相互の連絡や安否確認が可能となった。
			[高機能消防指令システム等の全面改修] ・音声認識プログラムの導入 ・映像通報受信装置の導入 ・クラウド型車両動態管理システムの導入 [被災者生活再建支援システムの運用] [防災情報一斉配信システムの運用] [災害情報システムの運用] ・「高岡多職種ネット」を利用した福祉避難所との連携強化 [消防団デジタル推進事業(結ネット)の運用] ・R7.11 運用開始			○		○	
中期	8	産業スマート化の推進	[産業デジタル化・人材育成支援] ・産業スマート化事業支援補助金の実施 ・人材育成事業の取組みに係る支援 ・立地助成金制度の DX 加算枠の実施 ・支援内容の拡充検討 [デジタルによる企業支援・事業承継推進] ・事業スキームの検討						【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【コスト削減】 ○市内事業者のデジタル技術が導入・向上したことで、企業活動の省力化や経営効率の向上が進んだ
			[産業デジタル化・人材育成支援] ・産業スマート化事業支援補助金の実施 ① デジタル化事業補助 4 件 ② 人材育成事業補助 1 件 ・立地助成金制度の DX 加算枠の実施 ・支援内容の拡充検討 [デジタルによる企業支援・事業承継推進] ・事業スキームの検討	○	○	○	○		
長期	1	相談事案や解決事案のデジタル化（AI の利活用）【共通】 （行政-長期-3）	情報分析の方策検討						【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【安全・安心の確保】 ○国・地方デジタル共通基盤の整備・運用に関する基本方針（令和 6 年 6 月 21 日閣議決定）に基づき、共通化の対象となる「重層的支援体制整備事業における相談記録プラットフォーム」に係る検討会（オンライン開催）に参加し、情報収集を行った。
			情報分析の方策検討 ・各課、関係機関等の多職種の情報連携を可能とするシステム導入に向けた運用ルール等の整理	○	○	○		○	

DX推進アクションプラン 令和7年度取組実績一覧

(2) 施策の柱2 行政のデジタル化（市民が利便性を実感できる行政サービスの実現）

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					効果の概要
				効果区分					
				時間と空間の節約	業務量の削減	業務の効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	1	再掲 マイナンバーカードの普及促進【共通】 （社会-短期-1）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
短期	2	自治体の行政手続きのオンライン化	・オンライン接続システム(申請管理システム)の運用 [引越し（転出・転入（転居）予約）] ・マイナポータルでのオンライン申請受付 [子育て、介護関係手続き] ・マイナポータルでのオンライン申請受付 ・国の標準仕様に合わせた地方公共団体の情報システムの移行作業 [消防法や条例関係手続き] ・e-Gov 電子申請 ・ICBA 電子申請						【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○オンライン申請可能な手続きが拡充され、市民が窓口に来庁する時間が削減された
			・オンライン接続システム(申請管理システム)の運用 [引越し（転出・転入（転居）予約）] ・マイナポータルでのオンライン申請受付 R7：1,943 件 R6：1,345 件 R5：1,065 件 [子育て、介護関係手続き] ・マイナポータルでのオンライン申請受付 52 件（子育て関係 47 件、介護関係 5 件） ＜どこでも市役所シリーズ 第 13 弾＞ ・オンライン出生届 R7：44 件 ・出生届同時マイナンバーカード特急発行申請 R7：765 件 [消防法や条例関係手続き] ・e-Gov 電子申請 743 件(28 手続) ・ICBA 電子申請 25 件(2 件) ＜どこでも市役所シリーズ 第 20 弾＞ ㊦国保(加入・脱退)手続きのオンライン申請(R8.3～) R7：6 件	○	○	○			
短期	3	再掲 電子申請対象手続きの拡大【共通】 （社会-短期-2）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
短期	4	再掲 データヘルス改革の推進【共通】 （社会-短期-3）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
短期	5	再掲 キャッシュレス決済の推進【共通】 （社会-短期-4）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の取組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担務の効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	6	再掲 問い合わせ対応のデジタル化（AI チャットボット）【共通】 （社会-短期-5）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
短期	7	再掲 オンライン会議の拡大【共通】 （社会-短期-6）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
短期	8	入札関係事務のデジタル化	・とやま電子入札システム運用 ・電子契約システムの運用 ・入札参加資格申請システムの運用	○	○	○	○	【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○民間事業者において、入札関係手続の際の来庁が不要となった ○入札参加資格申請の電子申請導入により、窓口対応及び郵送による仕分け業務にかかる時間の削減につながった	
			・とやま電子入札システム運用 ＜どこでも市役所シリーズ 第14弾＞ ・電子契約システムの運用 （契約のオンライン化） ＜どこでも市役所シリーズ 第15弾＞ ・入札参加資格申請システムの運用						
短期	9	文書事務のデジタル化	[文書管理システム] ・文書管理のデジタル化・ペーパーレス化の推進 [公共施設設計図面電子化] ・図面電子化業務 ・電子化済図面の整理	○		○	○	【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【コスト削減】 ○収受、回覧・決裁等の文書事務が効率化され、ペーパーレス化によるコスト及び文書保存スペースの削減につながっている	
			[文書管理システム] ・文書管理のデジタル化・ペーパーレス化の推進 [公共施設設計図面電子化] ・公共施設図面電子化（R5 年度～R11 年度）・電子化済図面の整理						
短期	10	意思決定事務の迅速化（電子決裁）	電子決裁システムの運用・事務改善	○		○	○	【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【コスト削減】 ○支払業務に係る時間、作業が軽減された ○書類保管場所や廃棄に係る時間が削減された ○紙の出力がなくなることで、用紙やファイル、印刷料等が削減された	
			電子決裁システムの運用・事務改善						
短期	11	業務知識や業務経験のデジタル化	・各課マニュアルの共有・運用	○	○	○		【時間と空間の節約】、 【業務量の削減】、 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○既存グループウェアの機能を活用し、マニュアルの共有化を図り、効率的に業務を進めることができた	
			・グループウェアを利用したマニュアルの共有・運用						

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実績 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	業務の効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
短期	12	働き方改革の推進	[リモートワーク] ・在宅勤務の運用（緊急時等） ・リモート会議の活用、オンライン研修受講の奨励 ・リモートワーク環境改善 [ビジネスチャット] ・利用場面の拡大検討						【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○リモート会議やオンライン研修により、参加者の移動に係る時間が削減できたほか、遠距離の相手との会議が容易となったことで、意見交換等の機会が十分確保され、業務の質の向上が図られた ○ビジネスチャットの拡大により、電話連絡に要していた時間が削減された
			[リモートワーク] ・在宅勤務の運用（緊急時等） ・リモート会議の活用 ・オンラインによる研修受講の奨励 [ビジネスチャット] ・利用職員の範囲拡大 (R7:アクティブユーザ数 1048、メッセージ数 878,238) (R6:アクティブユーザ数 1027、メッセージ数 512,250) (R5:アクティブユーザ数 941、メッセージ数 316,396)			○			
中期	1	自治体の情報システムの標準化・共通化	・要件定義 ・データ仮移行 ・システム全体経費の費用確定						標準準拠システムへの移行に向けて、県内自治体で共同調達プロポーザルを実施した。 プロポーザルの結果を受け、導入経費精査を行い、システム全体経費の試算を実施。 県内全自治体に参加し、システムの要件定義、パラメータ設定等を決める打合せを実施。（全体で（全体で 204 回（R6：166 回、R7：38 回）実施） 現行システムから標準準拠システムにデータ移行する際にエラーとなるデータ抽出を実施（仮移行作業 R6：1 回目、R7：2 回目） 【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○標準準拠システムへの移行は、窓口業務のデジタル化と合わせて取り組みを進めることで、市民の利便性向上のみならず行政業務の効率化が図られ業務量の削減が期待できる
			・要件定義 ・データ仮移行 ・システム導入経費の費用確定	○	○	○			
中期	2	自治体情報ネットワークのセキュリティ強化	・自治体情報ネットワークのセキュリティ対策の徹底と強化 ・ネットワーク構成の見直し						【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 【安全・安心の確保】 ○庁内の物理サーバを仮想サーバに統合することで、各機器の管理負担が軽減されるほかサーバ機器の不具合等のリスクの軽減を図った ○市が管理する情報ネットワークのセキュリティ対策の徹底と強化を実施した
			自治体情報ネットワークの強靱化に向けた機器更新 ・個別システムの仮想サーバへの統合			○		○	

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実績 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	業務の効率化（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	3	業務プロセスのデジタル化（AI・RPA）	・システム標準化に伴う既存利用の AI・RPA の利用検討及び移行対応 ・RPA 対象業務の拡大検討 ・AI-OCR 対象業務の拡大検討 ・RPA の県内自治体との共同利用 ・RPA 対象業務の拡大検討 R7：改修1件、計11件 R6：改修1件、計11件 R5：新規4件、計11件 ・AI-OCR の導入業務実施 R7：新規4件、帳票数19件 R6：新規2件、帳票数13件 R5：新規7件、帳票数10件 ・書かないワンストップ窓口に係る RPA 導入 R7：新規なし、継続2件 R6：新規2件（証明書(住民票・印鑑・所得課税・納税)、住所変更)	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○紙の帳票をデータ化することで、RPA によるシステム入力自動化や、情報加工が容易になる等、時間の節約や業務の効率化につながった 窓口の待ち時間と窓口対応時間の短縮
中期	4	再掲 IoT センサーを活用した取り組み【共通】 （社会-中期-3）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
中期	5	再掲 地図情報のデジタル化（GIS の公開） 【共通】 （社会-中期-4）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
中期	6	再掲 市民・地域・行政の新たなつながりの創出【共通】 （社会-中期-5）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
中期	7	再掲 災害対応力の強化【共通】 （社会-中期-7）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						
中期	8	校務の効率化	・校務クラウドストレージサービスの運用 ・統合型校務支援クラウドサービスの運用 ・校務クラウドストレージサービスの運用 ・統合型校務支援クラウドサービスの運用			○		○	【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○校務データの一元管理により、一度登録したデータを有効活用し業務の効率化を図ることができた（成績や出欠データを通知表・指導要録・調査書等に連携） 【安全・安心の確保】 ○高いセキュリティにより個人情報の漏洩を防ぎつつ、どこからでも安全にアクセス可能である

取組期間	No.	個別施策の名称 （【共通】：社会・行政両方に共通する施策）	令和7年度の実組み 上段：当初計画 下段：取組実績 （※㊦＝当初計画になかった新たな取組み）	定性的効果					
				効果区分					効果の概要
				時間と空間の節約	業務量の削減	担業務の効率化も含む（管理負担の軽減も含む）	コスト削減	安全・安心の確保	
中期	9	[新規] 水道情報活用システムの導入によるデータ利活用の促進	・仕様書作成 ・プロポーザル実施 ・新システム構築 ・現行システムからのデータ抽出	○	○	○			【時間と空間の節約】 【業務量の削減】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○「水道標準プラットフォーム」による上下水道事業の上下水道料金システムを導入し、将来的な「水道情報活用システム」でのデータ利活用により、異なる事業者間のデータ連携・利活用を促進し、上下水道事業の広域化・ライフサイクルコスト削減を図る。 ○富山県西部6市での「上下水道料金システム連携に関する詳細協定」の締結
			・仕様書作成 ・プロポーザル実施 ・新システム構築 ・現行システムからのデータ抽出						
長期	1	窓口案内のデジタル化	・市民の利便性向上に向けた情報収集・検討 ・窓口混雑状況のリアルタイム配信の運用 ・窓口案内・予約システムの導入開始、運用・改善	○		○			【時間と空間の節約】 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○来庁しないと確認できなかった混雑状況を、スマートフォンやPCで確認可能とし、また令和7年8月1日から、来庁者が多い手続きや1件あたりに時間を要する相談などは、来庁日時の予約サービスを開始したことにより、来庁者の時間の有効活用に役立てていただけるようになった。
			<どこでも市役所シリーズ 第18弾> ㊦迷わない！待たない！窓口案内・予約サービス ・来庁予約サービスの開始（11種類） ・複数窓口の申請等も統一した番号によりご案内 ・呼び出しが近づいた際のメール通知 ・多言語対応（6か国語） ・窓口混雑状況のリアルタイム配信（どこでも市役所シリーズ 第2弾）のリニューアル						
長期	2	窓口業務のデジタル化	・「ワンストップ窓口」の段階的な導入 ・STEP2 転入手続きのワンストップ実施 ・STEP3 ライフイベント全般のワンストップ実施	○		○			【時間と空間の節約】 ○来庁者の申請・届出書類を記載する負担及び時間を軽減した 【業務の効率化（管理負担の軽減も含む）】 ○データ連携による正確な事務、世帯の状況に合わせて漏れのない関連手続きの案内書のお渡しが可能になった
			・STEP2 転入手続きのワンストップサービスの開始(R7.5～) 対象手続き：11種類 （児童手当、こども医療費、要介護等認定の継続を新たに追加） ・STEP3 出生・おくやみ手続きのワンストップサービスの開始(R8.1～) 出生の対象手続き：9種類 （国民健康保険加入、児童手当、こども医療費等） おくやみ対象手続き：11手続き （葬祭費支給申請、後期高齢者医療や介護保険等の還付金請求、身体障害者手帳の返還等） ・書かない窓口対象手続きの拡大(R8.1～) （障がい福祉、介護保険関係 44種類）						
長期	3	再掲 相談事案や解決事案のデジタル化（AIの利活用）【共通】 （社会-長期-1）	様式 1-1_DX 推進アクションプラン取組実績（社会）で記載						